



3か月の夏休み

夏休みといえば、何を思い浮かべますか？アメリカ人の学生なら、海や宿題、インターンシップ等の活動をイメージするかもしれませんが。この点は日本と同じでしょう。しかし、日本と大分だいぶ違うのは、アメリカの夏休みの長さです！アメリカ人の学生は、長期休暇をどうやって過ごすかを、今回説明したいと思います。

アメリカでは、多くの小・中・高等学校の夏休みは5月の中旬から始まり、8月の中旬に終わります。3か月間ほとんど宿題無しの夏休みがあります。

さて、夏休みはどうやって過ごすのでしょうか。私が、小学生の時は家族でビーチに行き、2週間ぐらい海で遊んだりしました。小学生には夏休みの宿題がないので、家族との旅行以外に、子どもたちは色々な活動をするサマーキャンプに通ったり、友達と遊んだり、外でちょっとした冒険をしたりしました。中学生になると、宿題が出るので、旅行以外に、勉強する時間も作りました。中学生の夏休みの宿題は学校によって違いますが、私はいつも読書感想文をさせられました。高校生になると、3冊ぐらいの小説を読んで国語の授業でその読書の経験を生かすような夏休みの宿題が多いです。ただし、アメリカの夏休みはとても長い為、宿題の量はどんなに多くても、自由な時間がそれ以上にあります。

大学生の夏休みは違います。まず初めに、アメリカの学期は日本と違って、前期は8月から12月までで、後期は1月から6月までです（ちなみに、早いところは5月に終わります）。それで、夏休み中にインターンシップを受けるのはアメリカの大学生の中でよくあることです。その他、単位を得るためにサマースクールに通ったり、短期留学をしたり、アルバイトなどをします。

皆さん、アメリカの夏休みについてどう思いますか？楽しそうですか？それとも長すぎだと思いますか？今度、夏休みのインターンシップについて話をしたいと思いますので、楽しみに待っていてくださいね。

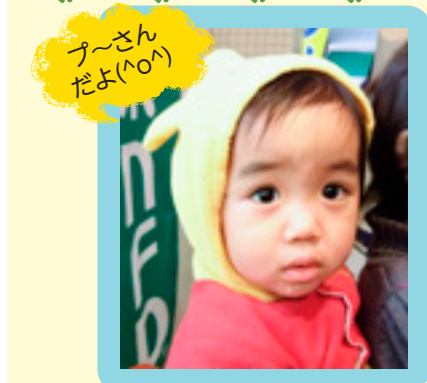
A 3 Month Long Summer Break

What comes to your mind when you think of summer break? American students probably think of things like going to the beach, homework and internships. I think this is probably very similar to Japan. But, something about American summer break that is very different from Japanese summer break is its length! So, this month I would like to talk a little bit about how American students often spend their long vacations!

In America, most elementary, middle and high schools start their summer vacation towards the middle of June, and then start classes again towards the end of August. So how do students spend all that time? Well, when I was in elementary school, each year my family and I would spend two or so weeks playing at the beach! Also, because elementary schools give little to no summer homework, I was also able to go to summer camp, play with my friends, and have small adventures outside! When I was in middle school, I started to get more summer homework (the type of homework varies from school to school, but I was often assigned things like book reports). I was still able to go on vacation, but I had to make time for studying too. In high school, it is common to get a lot of summer reading assignments that will then be used in your English class once school starts. Although it can start to feel like a lot, no matter how much homework you have, the length of our summer vacation leaves lots of free time.

In college, summer vacation is different from grade school. First of all, you should know that American semesters are the opposite of Japanese semesters. Our first semester starts in August and ends in December, then our second semester starts in January and ends in June or July. So, starting in early June or July, there are many American college students who will take a summer internship. Additionally, it is common for college students to take summer courses for credits, do a summer study abroad or get a part time job to earn some money.

So what do you think about American summer vacation? Does it sound fun? Or maybe you think it's too long? In the coming months, I will be writing an article about summer internships in America, so keep an eye out!



たもり かんくろう 田盛 堪九郎ちゃん(1歳)安波茶在



くし さーら 具志 彩蘭ちゃん(1歳)港川在



なかむら ひでと 仲村 瑛人ちゃん(1歳)城間在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子ども(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎(876) 1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

ハイスイ こちら市長室！

「誰かの笑顔のために」

第16回「市民の夢応援プロジェクトまちづくりプラザ賞(通称まちプラ)」が今年も開催されました。このまちプラは、市民自らが街づくりについて企画立案して、実践を行うプロジェクトであります。これまでに経塚地域のクリスマスイルミネーション活動や港川地域のカーミージー里浜活動、ていーだこども食堂など多くの素敵な活動が誕生してきました。

この「まちプラ」が今年はシンバグループさんの資金協力を得て新たなステージへと進化し始めています。今までは税金を使ってさまざまな施策を行ってきた市役所ですが、これからは民間企業とコラボ(協力)することで税金だけに頼らない行政サービスを展開する試みの一つです。企業にとっ

ては資金を提供することで市民活動を応援しつつ、社会貢献企業としてのブランド構築に役立てることができます。お金を必要とする市民団体と、地域貢献活動を応援したい企業の橋渡しをすることが「まちプラ」の隠れたもう一つの目的なのです。この市民と企業とをマッチングする仕組みを提供することが、これからの行政の大切な役割となります。

この民間資金を街づくりに活用する事例は他にも始まっています。例えば、浦添運動公園内にある浦添市民相撲場。ちびっこ相撲大会でおなじみの方も多いと思いますが、この相撲場の雨天対策がここ数年大きな問題となっていました。そこで、沖縄トヨタグループさんが雨よけ



浦添市長 松本哲治

対策をしてくれたおかげであつという間に改善され、今では雨を気にすることなく子ども達が稽古に励んでいます。また、旬丸豊商事さんの寄付金のおかげで、今不足して困っている保育士さんの資格取得支援制度も始めることができました。てだこまつりやてだこウォークなどのイベントも多くの企業の皆さまのご寄付で成り立っています。

世界では米セールズフォース社を始めとして、営利活動と社会貢献活動を一体化した「公益資本主義」という経営モデルも広がっています。「地域社会で誰かの笑顔のために」そんな企業がここ浦添市でも増えていくと嬉しいですね。

文化課発信 うあむー ありんくりん 第17回

～ 石積みを見れば時代がわかる! ～

沖縄のグスクや古いお墓などに行くと見事な石積みに出会うことができます。これらの石積みは造られた時期によって積み方が違うのはご存知でしょうか。

沖縄の石積みは野面積み、布積み、相方積みに分けることができます。野面積みは自然の石を組み合わせる方法で、13世紀ころのグスクにみられます。布積みは石を長方形に加工する方法で、14世紀以降のグスクで用いられます。石積みの石と石の間を「目地」といいますが、古い布積みは縦方向に目地が通るのに対し、新しいものは「品」の字に積まれます。相方積みは石と石が噛み合うように加工する方法で、15世紀に完成した技術と考えられています。

こうした石積みは浦添市内でも目にすることができます。英祖王が生まれた場所といわれる伊祖城跡の城壁は野面積みで積まれているのに対し、首里城以前の王城とされる浦添城跡では縦方向に目地が通る布積みとなっています。また、代々浦添を領地とした一族の墓・浦添御殿の墓では、見事な相方積みが出迎えてくれます。

この夏休み、「石積み」というキーワードを手がかりに市内の文化財を訪ねてみてはいかがでしょうか。見慣れたはずの場所にも新たな発見があるかもしれません。



▲伊祖城跡(野面積み)



▲浦添城跡(布積み)



▲浦添御殿の墓(相方積み)

問い合わせ 文化課 内線6214・6217